



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月12日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

四半期報告書提出予定日 2020年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,262	33.1	320	27.1	294	32.5	185	31.2
2019年12月期第1四半期	3,383	48.1	440	41.6	436	42.3	269	28.5

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 175百万円 (35.4%) 2019年12月期第1四半期 271百万円 (30.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	27.21	
2019年12月期第1四半期	39.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	8,715	6,282	72.1	921.21
2019年12月期	8,892	6,284	70.7	921.50

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 6,282百万円 2019年12月期 6,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		24.00		26.00	50.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		30.00		25.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期(予想)の中間配当金につきましては、創立40周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,826	15.3	592	19.9	603	17.9	387	17.3	56.75
通期	10,409	2.4	1,442	7.6	1,473	5.2	956	3.7	140.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	6,924,400 株	2019年12月期	6,924,400 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	104,176 株	2019年12月期	104,127 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	6,820,269 株	2019年12月期1Q	6,820,273 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、景気が下振れしております。当該感染症の流行については、その終息時期が不透明であることから、先行きについても厳しい状況が続くと見込まれております。

当社グループは、情報家電産業、産業設備・工作機械産業、自動車産業、医療機器産業などに代表される「ものづくり企業」へのサービスに特化し、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム事業を展開しております。IT技術を駆使した「ストレート・スルー・プロセッシング」を可能とする「技術情報統合マネジメント企業」として、顧客企業の製品開発から製造・販売・サービスまでのビジネスプロセスの各段階をトータルにサポートしております。

また、高度化・多様化する顧客ニーズに対し、常に最新の情報技術を提案することで、“既存顧客の囲い込み”“新規顧客の開拓”を進めるほか、IoT、AI、ロボットビジネスをはじめとする新規事業・新規領域の開拓を図ってまいりました。

しかしながら2月以降、新型コロナウイルスの感染が拡大し、徐々に営業活動や打ち合わせ等への制約が多くなりました。3月に入ると状況は深刻度を増し、新規案件獲得のための営業活動に支障をきたすようになりました。

こうした背景において、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高2,262百万円（前年同期比33.1%減）、営業利益320百万円（前年同期比27.1%減）、経常利益294百万円（前年同期比32.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益185百万円（前年同期比31.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

(ドキュメンテーション事業)

ドキュメンテーション事業では、グループ連携の強化を図り、シナジー効果の拡大に取り組んでまいりました。また、第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響は比較的限定的であったことから、売上高は815百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は253百万円（前年同期比4.9%増）の増収増益となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業におきましては、ロボトレナー等の実習装置の拡販、民間向けFA・ロボットシステムの新規開拓に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2月以降、特に民間向け案件の受注が失速したこと等により、売上高は373百万円（前年同期比3.2%減）にとどまりました。また今期より稼働を開始したバイナス第2工場の減価償却費等の影響もあり、営業利益は54百万円（前年同期比29.8%減）の減収減益となりました。

(技術システム事業)

技術システム事業は、新規顧客の開拓による事業拡大、MBD・PLMソリューションの推進、システム開発を中心とした受注確保に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、主要取引先への営業活動への制約が大きかったことから、当社グループの中では一番影響を被った事業となりました。前年同期にはIT機器販売の大型案件の売上があったことの反動とも相俟って、売上高は1,088百万円（前年同期比51.1%減）となり、営業利益も181百万円（前年同期比38.2%減）の減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は8,715百万円であり、前連結会計年度末より176百万円減少しております。内訳としては、流動資産が205百万円減少の4,906百万円、固定資産が28百万円増加の3,808百万円であり、流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で18百万円、電子記録債権で51百万円、その他で82百万円（主に未収還付法人税等）の増加があった一方、受取手形及び売掛金で374百万円の減少があったこと等であります。また、固定資産の変動については、投資その他の資産で52百万円（主に繰延税金資産）増加している一方で、有形固定資産7百万円、無形固定資産16百万円が減少したこと等であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より174百万円減少し、2,432百万円となりました。内訳は流動負債が174百万円減少の2,426百万円、固定負債が0百万円増加の6百万円であり、流動負債の変動の主な要因は、短期借入金が90百万円、賞与引当金が230百万円、その他が109百万円（主に仮受金）増加している一方で、未払金が426百万円、未払法人税等が155百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は6,282百万円であり、前連結会計年度末より2百万円減少しております。その要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益185百万円を計上し、177百万円の配当金の支払いを行ったことで利益剰余金は8百万円増加しているものの、その他有価証券評価差額金が10百万円減少していること等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今般の新型コロナウイルス感染症の流行による影響が不透明であることから、2020年2月12日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりませんが、当該感染症の流行が当社グループの業績に及ぼす影響については、今後も注視してまいります。業績予想の修正が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,852,588	1,870,716
受取手形及び売掛金	2,567,177	2,192,752
電子記録債権	209,361	261,046
商品及び製品	58,662	67,268
仕掛品	189,517	198,298
原材料及び貯蔵品	12,172	11,886
その他	227,082	309,347
貸倒引当金	△4,497	△4,420
流動資産合計	5,112,064	4,906,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,851,137	1,838,811
土地	1,059,212	1,059,212
その他(純額)	166,618	171,107
有形固定資産合計	3,076,968	3,069,131
無形固定資産		
のれん	196,901	188,016
その他	110,905	103,327
無形固定資産合計	307,806	291,344
投資その他の資産		
その他	408,103	461,066
貸倒引当金	△12,640	△12,640
投資その他の資産合計	395,463	448,426
固定資産合計	3,780,238	3,808,902
資産合計	8,892,303	8,715,798
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	334,972	243,032
短期借入金	650,000	740,000
未払金	704,429	277,851
未払法人税等	307,900	152,710
未払消費税等	111,919	185,602
賞与引当金	161,495	392,133
受注損失引当金	4,274	421
製品保証引当金	14,333	13,622
その他	311,631	420,990
流動負債合計	2,600,956	2,426,364
固定負債		
退職給付に係る負債	4,100	4,202
資産除去債務	2,347	2,353
固定負債合計	6,447	6,556
負債合計	2,607,403	2,432,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	4,197,775	4,206,082
自己株式	△25,575	△25,626
株主資本合計	6,284,294	6,292,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,890	△12,179
為替換算調整勘定	2,495	2,505
その他の包括利益累計額合計	604	△9,674
純資産合計	6,284,899	6,282,878
負債純資産合計	8,892,303	8,715,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,383,555	2,262,647
売上原価	2,523,830	1,516,976
売上総利益	859,724	745,670
販売費及び一般管理費	419,702	424,959
営業利益	440,022	320,711
営業外収益		
受取利息	6	8
確定拠出年金返還金	343	258
売電収入	358	356
その他営業外収益	1,003	683
営業外収益合計	1,711	1,306
営業外費用		
支払利息	1,050	1,161
支払融資手数料	2,680	2,670
為替差損	674	672
解約違約金	—	18,856
その他営業外費用	1,267	4,225
営業外費用合計	5,672	27,587
経常利益	436,060	294,430
特別利益		
固定資産売却益	—	79
特別利益合計	—	79
特別損失		
固定資産除却損	0	5,627
特別損失合計	0	5,627
税金等調整前四半期純利益	436,060	288,882
法人税、住民税及び事業税	225,890	166,930
法人税等調整額	△59,500	△63,682
法人税等合計	166,390	103,247
四半期純利益	269,670	185,634
親会社株主に帰属する四半期純利益	269,670	185,634

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	269,670	185,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,504	△10,289
為替換算調整勘定	76	10
その他の包括利益合計	1,581	△10,278
四半期包括利益	271,252	175,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	271,252	175,356
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	795,510	384,879	2,203,165	3,383,555	—	3,383,555
セグメント間の内部売上高又は 振替高	92	969	22,066	23,128	(23,128)	—
計	795,603	385,849	2,225,231	3,406,683	(23,128)	3,383,555
セグメント利益	241,144	77,150	294,106	612,401	(172,378)	440,022

(注) 1. セグメント利益調整額△172,378千円には、セグメント間取引消去3,527千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,906千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	814,794	369,779	1,078,073	2,262,647	—	2,262,647
セグメント間の内部売上高又は 振替高	234	3,535	10,390	14,161	(14,161)	—
計	815,028	373,315	1,088,463	2,276,808	(14,161)	2,262,647
セグメント利益	253,028	54,154	181,657	488,839	(168,128)	320,711

(注) 1. セグメント利益調整額△168,128千円には、セグメント間取引消去2,063千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,191千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。